

ウーマン イン レッド

The Woman in Red



赤いドレスのあの美女に心の愛を伝えたい!

I just called to say I love you.



ジーン・ワイルダー/チャールズ・グローディン/ヨセフ・ボロニーヤ
ジュディス・アイバー/マイケル・ハドルストン/ケリー・ルフロッグ
ギルダ・ラドナー

ピクトール・ドレー=プロ「ウーマン・イン・レッド」
音楽:ジョン・モリス/作詞・作曲:スティービー・ワンダー
歌:スティービー・ワンダー/ティオヌ・ワーウィック
製作総指揮:ジャック・フロスト・サンダース
原作:ジャン・ルーダ/パティ&イブ・ロペール
製作ピクトール・ドレー
脚本・監督:ジーン・ワイルダー
アラックスカラー®/オンライン映画作品

サントラ盤・ピクター・レコード DOLBY STEREO An ORION PICTURES Release

★85年ゴールデン・グローブ最優秀音楽賞に輝く
スティービー・ワンダーの大ヒット主題歌!

*ストーリー



*かいせつ

ごく平凡な男が絶世の美女とベッドをともにするまでの道は、このロマンティック・コメディの場合は、えらく遠いのである。監督・脚本は、テディ役で主演のジーン・ワイルダー。「新シャーロック・ホームズ/おかしな弟の大冒険」から数えて、これが4本目の監督作品である。下敷きになっているのは「わんぱく戦争」などの監督、イブ・ロベールによるフランス映画「わたしの情事を許して」。数年前にこの映画を観たワイルダーは、粹ですばらしいストーリーのリメイクを作るなどと大それたことは考えていなかったが、プロデューサーのピクトール・ドレに説得されて大いに心が動いた。

ワイルダーは、84年の夏にサンフランシスコ名物のケーブルカーが運転を再開するニュースを知り、その宣伝キャンペーンを背景にしようと思い立った。そこで、テレグラフ・ヒル、ゴールデン・ゲイト、ベイ・ブリッジといった絵葉書の完璧さを誇る有名な景観が、テディの冒険のセットとなっている。サンフランシスコの消防署までが協力してくれた。

製作のヴィクトール・ドレは、フランスのファッション界で成功を収め、8年前アメリカに移住してきたという異色プロデューサー、撮影監督は、ワイルダーが主演した「スター・クレイジー」の他「グロリア」「ミスター・アーサー」「キング・オブ・コメディ」などを手がけているフレッド・シュラーである。



*最高の美女が映画デビュー

豊かな個性を誇るキャストたちによるアンサンブルの妙は、ワイルダーの得意とするところ。仲間に扮するチャールズ・グローディン、ジョー・ボロニャ、マイケル・ハドルストン、そして、とんだ行き違いからテディを目の仇にする同僚のハイミス役のギルダ・ラドナーら芸達者な面々は、脚本を書くそもそもはじめからワイルダーの念頭にあった。

テディ役のジュディス・アイビーは、最近「淋しい男」で共演したグローディンの推せんで決まり、主だったキャスティングはほぼ完了したわけだが、問題はタイトル・ロールの『赤いドレスの女』である。男がこの世の果てまでもついて行きなくなるようないい女でなければならない。熟考の末、ディオールなどの広告に登場している国際的な一流モデル、ケリー・ルブロックが起用され、映画デビューを飾ることになった。



テディは地上30メートルの窓の外側に、半分はだかで立ちつくしている。窓の中には女と夫、目の下には彼が飛び降りるのを待ちかねている人々の群れ……。テレビ・キャメラがこの実況をサンフランシスコ中に流し、家の台所では妻がショックに目を見はっている。テディの身に一体何が起ったのか？

4週間前までのテディは、きれいな女とすれちがったって振り向いたりしない、誠実で頼りになる夫であったのであった。『赤いドレスの女』を見るあの日までは…。

テディ・ピアス（ジーン・ワイルダー）は母性愛をくすぐるようなタイプのかわゆい40代、サンフランシスコ市のPR課につとめている。しぐくまじめで純情で、いとしい妻のディディ（ジュディス・アイビー）にも貞節を守っているテディだが、どうしたはずみか、ある朝出勤途中にちらと見かけた『赤いドレスの女』（ケリー・ルブロック）にすっかりぼうっとなってしまう。その後が、つい隣りのオフィスに来ているのを見たテディ、早速電話して、秘かにデートの約束をとりつける。いや、とりつけた、とばっか思ってた。実は同僚のミス・ミルナー（ギルダ・ラドナー）相手にしゃべっていたのだ。こうしてテディの恋は初めから波乱と混乱の予感を秘めて始まった……。

*今年度ゴールデン・グローブ《最優秀主題歌賞》受賞！



グラミー賞通算14部門獲得、愛を歌うアメリカ最大のスーパースター、スティービー・ワンダーが全力を傾注して完成させた話題のサントラ！世界20ヶ国以上でNo.1を記録した名曲“心の愛”を含む大ベスト・セラー・アルバム「ウーマン・イン・レッド」

